

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

「情報セキュリティマネジメント試験 平成28年度秋期試験」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

先般、10月16日(日)に実施された「情報セキュリティマネジメント試験 平成28年度秋期試験」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の秋期試験の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに前回(平成28年度春期試験)の数値も記載しています。

●カテゴリ別

大分類		中分類	H28 春 出題数	H28 秋 出題数
重点分野	技術要素	セキュリティ	30 問	31 問
	企業と法務	法務	6 問	6 問
小計			36 問	37 問
その他の分野	コンピュータシステム	システム構成要素	1 問	1 問
	技術要素	データベース	1 問	1 問
		ネットワーク	2 問	1 問
	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント	0 問	2 問
	サービスマネジメント	サービスマネジメント	3 問	2 問
		システム監査	3 問	2 問
	システム戦略	システム戦略	1 問	1 問
		システム企画	1 問	2 問
企業と法務	企業活動	2 問	1 問	
小計			14 問	13 問
全合計			50 問	50 問

●問題形式別

問題形式	H28 春 出題数	H28 秋 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	25 問 (50%)	20 問 (40%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	25 問 (50%)	30 問 (60%)
計算(数値や計算式を求める問題)	0 問 (0%)	0 問 (0%)
合計	50 問 (100%)	50 問 (100%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の秋期試験で出題された取り扱いテーマは、次のとおりです。

設問	出題テーマ	設問数
1	オンラインストレージサービスの利用における情報セキュリティ対策	9 問
2	情報機器の紛失	6 問
3	業務用 PC での Web サイト閲覧	8 問
合計		23 問

3. 問題分析

初回の春試験はレベル 2 の試験区分として易しかった印象があり、今回の秋試験で大幅に難しくなる可能性もあると想定していましたが、レベル相当の難易度でした。

難易度については、このまま落ち着くように思われますが、合格率によって変動する可能性もあります。

難易度が安定するのは、来年度以降になると思われます。

【午前問題】

カテゴリ別に見ると、シラバスの「重要分野」から約 7 割、「その他の分野」から約 3 割が出題されており、前回と同様の出題比率でした。また、前回と同様に、基本情報技術者試験や応用情報技術者試験などの過去問題からの流用も多く見られ、その他の分野では約 6 割が該当していました。

問題形式別に見ると、「用語」が 4 割、「事例」が 6 割となっており、前回と同様に、数値や計算を使用する問題はありませんでした。用語と事例の出題比率を前回と比較すると、単純な用語に関する問題が 1 割減少した分、考察が必要な事例に関する問題が増加しており、若干ですが難しくなった印象です。

用語の問題では、「クロスサイトスクリプティング」「パスワードリスト攻撃」といったサイバー攻撃に関連する問題や、「MDM」「SIEM」「SPF」「ビヘイビア法」「デジタルフォレンジックス」などの技術的セキュリティ対策に関する問題が目立ちました。事例の問題では、前回と同様、複雑な図解を読み取ったり高度な分析を要したりするものはなく、解きやすかったと思われます。

また、各問題の難易度を、他の試験区分と比較してみると、次のような内訳となりました。

難易度	H28 春 出題比率	H28 秋 出題比率
IT パスポート試験(レベル 1)相当	20 問 (40%)	16 問 (32%)
基本情報技術者試験(レベル 2)相当	24 問 (48%)	27 問 (54%)
応用情報技術者試験(レベル 3)相当	6 問 (12%)	7 問 (14%)
合計	50 問 (100%)	50 問 (100%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

レベル 1 の容易な問題が減少し、レベル 2 相当の問題が増加していることから、レベル相当の難易度になったことがわかります。

【午後問題】

今回は、3問とも情報セキュリティインシデント管理に関する内容で、「インシデントの検知」→「初動処理」→「分析」→「復旧」→「再発防止策の提案・実施」といった対応手順に沿って考察する問題でした。

難易度は前回と同程度でしたが、3問とも同程度のボリュームの問題であったため、時間配分がしやすく、前回よりも解答しやすい印象でした。

しかし、与えられる条件や考慮すべき案件の指示が多く、問題文を読み解くのに時間がかかるため、受験者にとって時間的な負荷が大きいことは変わりません。設問の中には、情報セキュリティに対する基本的な理解と一般常識から解答を導き出すことができる問題も多く含まれているので、時間配分に留意し、普段から長文に慣れておくことが必要です。

4. 試験動向

他の試験が横ばいの中、若干ですが増加傾向になっています。

注目が高いIT資格として、受験者は今後もさらに増加すると思われます。

年度	春期	秋期	年間
平成 28 年度	21,691 名	22,186 名	43,877 名

5. 教材ラインナップ

当社の「情報セキュリティマネジメント試験」教材のラインナップ(発売中/発売予定)は、次のとおりです。

No.	教材名	型番 価格/予価	説明
1	情報セキュリティマネジメント試験 対策テキスト&過去問題集 平成 29 年度版	FPT1622 2,200 円 (税抜)	シラバス(Ver1.0)にそって必要な知識を解説する教科書です。 平成 28 年度春期・秋期試験(2回分)の解説を収録しています。 【2016 年 12 月発売予定】
2	短期集中！ 情報セキュリティマネジメント試験	FPT1532 1,500 円 (税抜)	情報セキュリティ管理の概要を短期間で効率的に学習するためのコンパクトガイドです。

以上